

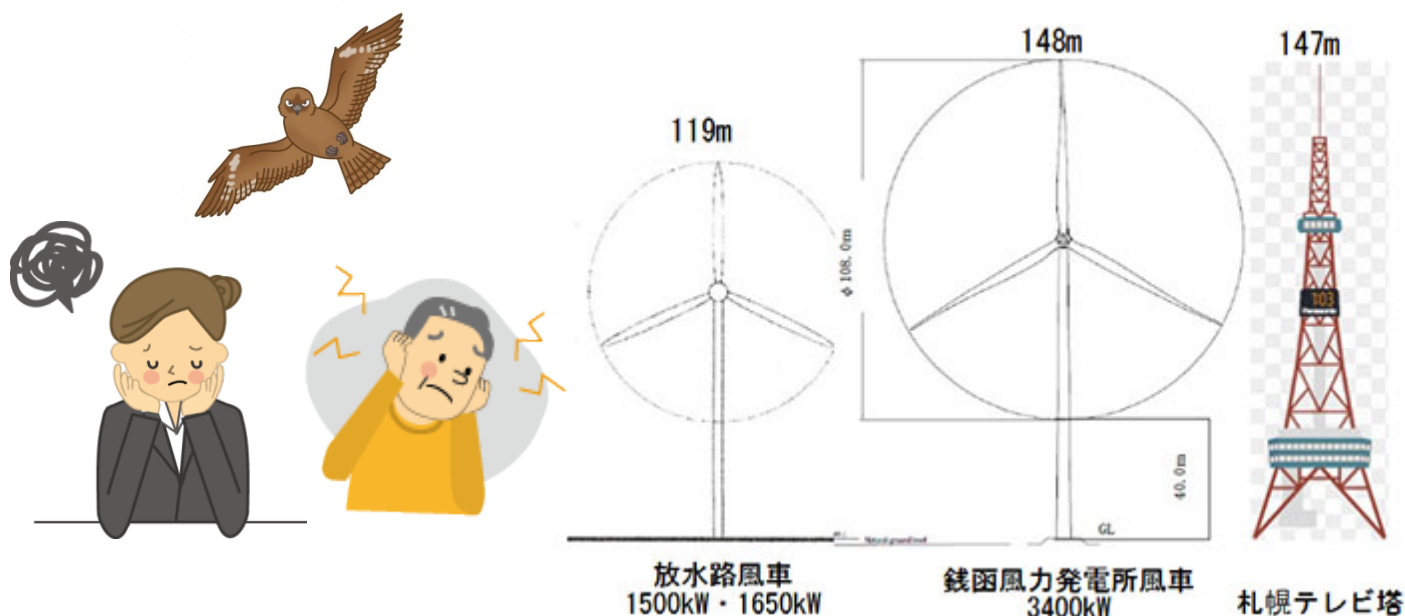
【学習会】

3300kW 風車の低周波音に 日常的にさらされることについて



石狩市住民が超大型風車の稼働によって、20年間、風が吹く度に低周波音を受けた時、どのような健康被害が起きるか学びます。

1月1日からエコ・パワー（株）風力発電所の営業運転が開始されています。北海道初となる3000kW級風車は花川北中学校、花川生協、花畔などから、回転しているのがよく見えます。この巨大風車の稼働が、今後私たちにどのような影響をひきおこすか、大変心配されています。今年の春からは石狩コミュニティウインドファームの建設が再開され、巨大風車7基がさら近隣に姿を現します。また自然豊かな銭函海岸にも10基の建設工事が始まっています。皆さまぜひご参加ください。



- ◆時間 平成30年2月25日（日）13時30分～15時30分
- ◆場所 花川北コミュニティセンター（石狩市花川北3-2）☎0133-74-6525
- ◆講師 種田昭夫 氏

（北海道自然保護協会理事、石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会会員）

- ◆費用 300円（資料代）

主催・問い合わせ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
安田秀子（0133-74-6198）

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>